

本コミュニケーション・オン・エンゲージメントが対象とする期間

開始日：2021年8月16日      終了日：2023年8月16日

## 継続的支持に関する声明

2023年7月25日

ステークホルダーの皆様へ

私は、学校法人大阪夕陽丘学園が人権、労働、環境、腐敗防止に関する国連グローバル・コンパクト10原則を支持することをここに確認し、ここに表明いたします。これは、国連グローバル・コンパクトに対する当学園のコミュニケーション・オン・エンゲージメントです。皆様のフィードバックをお待ちしています。

このコミュニケーション・オン・エンゲージメントでは、当学園をはじめとする各種組織に対して提案された国連グローバル・コンパクトおよびその原則を支持するために当学園が行った取り組みについて説明しています。また、当団体の主要なコミュニケーション媒体を通じて、当学園の取り組みを積極的にステークホルダーの皆様にご公表してきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

山田 清

山田 清

学校法人大阪夕陽丘学園 理事長

## 取り組み状況

取り組みの例として以下のものがあります。

### 学校法人大阪夕陽丘学園の取組

2019年、学園創立80周年を記念して中期5ヵ年計画を作成し、その中に学園の創始者でクリスチャン実業家「里見純吉」(株式会社大丸の二代目社長、社会教育や女性の地位向上に尽力)が唱えた建学の精神「愛と真実」を受け継ぎ、実践する一つの形として持続可能な社会の実現を目指す UNGC(国連グローバル・コンパクト)に誓約・署名を行い、GCNJ(グローバルコンパクトネットワークジャパン)の会員となる(8月)。これを機に UNGC および GCNJ の主要活動である SDGs に取り組む。2021年8月には、コミュニケーション・オン・エンゲージメントを提出。

学園全体としてはSDGsの17の目標のうち、教育機関としての「目標4 質の高い教育をみんなに」や、里見純吉の業績や建学の精神に繋がる「目標5 ジェンダー平等を実現しよう」および「目標16 平和と公正をすべての人に」の活動を目指している。その後、高等学校の趣旨に則り、「目標12 つくる責任つかう責任」も加えた。

### 大阪夕陽丘学園高等学校の生徒への啓発活動と実践活動

#### 2021年度

- ・教育改革に先行して2019年度生から取り入れた「総合的な探究の時間」は3年目を迎えて、企業との連携やSDGsの実践として展開し、生徒の主体性を重視するルールメイキングプロジェクトにも取り組んだ。
- ・SDGsの取組にも探究学習を通して実践することができ、2021年度入学生からは制服がSDGs仕様となるなど、意識が高まっている。

#### 2022年度

- ・2019年度生から取り入れた「総合的な探究の時間」は4年目を迎えて、完成形を持って、企業との連携やSDGsの実践として展開した。
- ・「ペットボトルから団シャツを作ろう」と企画し、ペットボトルを回収して工場まで運搬し、体育祭で使用する団Tシャツを生徒がデザインして作成した。ペットボトル加工業者、Tシャツ製造業者、高等学校のパートナーシップの連携に繋がった。

### 大阪夕陽丘学園短期大学の学生への啓発活動と実践活動

#### 2021年度

- ・1年生の授業「夕陽学」(自校教育の一環の授業、必修科目)の1講座としてSDGsを取り上げ、学びと啓発の取り組みを2019年度から継続。

#### 2022年度

- ・1年生の授業「夕陽学」（自校教育の一環の授業、必修科目）の1講座としてSDGsを取り上げ、学びと啓発の取り組みを2019年度から継続。
- ・食物栄養学科において「捨てずに食べて元気になる～健康を維持するサステナブルな食の提案～」について、健康・食をSDGsの視点から捉えた内容の公開講座を開催した。
- ・第6回大阪府健康づくりアワードにおいて、本学食物栄養学科「栄養指導研究室」の取り組みが「地域部門 奨励賞」を受賞し、地域との連携を深めている。
- ・過年度からの継続として志摩市との連携による地域振興の取り組み等を全学的に行っている。
- ・省エネルギー及び環境保護の促進の観点からは、無線LAN設備拡充に伴いタブレットを使用した「ペーパーレス会議システム」を導入した。

### 大阪夕陽丘学園全体の取り組み

#### 2021年度

「SDGs」の取り組みとしては、2021年度は、SDGsの大元であるUNGC(国連グローバルコンパクト)に2年間の活動報告を行う年であったので、その報告書を学園のHPにも載せることにより学園広報活動の一助とした。また、各部門が独自でSDGsに取り組んだ内容も外部発信した。

#### 2022年度

省エネ対策として、2022年4月施行の「プラスチック資源循環促進法」による対応として、学園全体でゴミ分別の更なる強化対応として“プラスチックゴミ専用分別ボックス”の増設をした。過年度からの継続的な取り組みとして、COOL BIZも実施した。

## 成果の測定

「取り組み状況」の中で示した、大阪夕陽丘学園短期大学と大阪夕陽丘高等学校における活動に、以下の成果を見ることが出来る。

- ・毎年、約 500 名の短期大学生と約 1300 名の高校生が、授業等を通して UNGC 及び SDGs について学び、啓発されている。
- ・また、そのうちの一定の割合の家族が UNGC や SDGs に啓発されている。
- ・高等学校では、探究の授業を通して SDGs 関連で企業とのパートナーシップを結んでいる。
- ・高等学校では、2021 年度の新入生から環境配慮型制服 (SDGs 制服) を採用し、また 2022 年度の体育祭では改修したペットボトルから加工して作り出した繊維による T シャツを着用した。これ等はいずれもマスコミにも取り上げられ、SDGs の概念を広めている。
- ・短期大学では、地域との結びつきの中で学科やコースの特色を活かした取り組みにより、地域と共に SDGs の啓発が広がっている。

以上